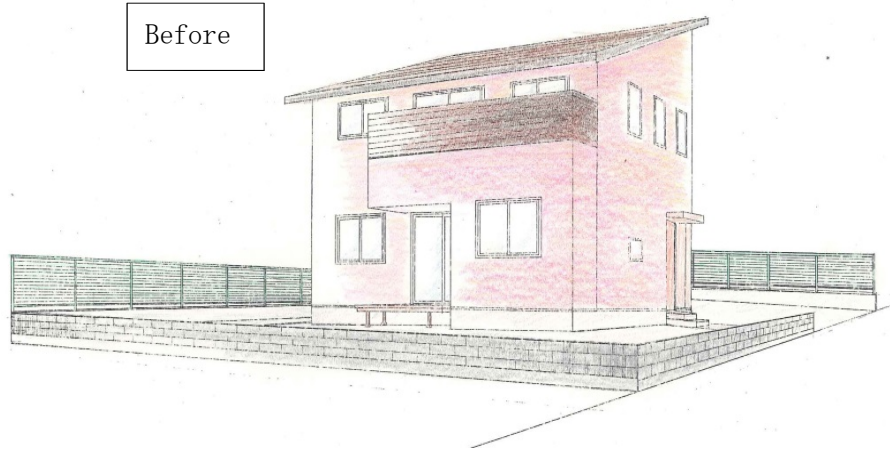


もも畑が広がる果樹栽培エリア



After



南立立面



東立立面



- 外壁や屋根の彩度を落とし、外壁の一部に自然素材に近い木調の外壁材を使用。
- 外構に自然素材の木・石を多く使用。(木調角材の塀、ウッドフェンス、自然石積み、生垣、枕木のアプローチ)
- 植栽は、萌木の村(山梨県北杜市高根町清里)のようなナチュラルガーデンを提案。その土地に古くから自然に生息している山野草や中高木などを多く植栽する。ドウダンツツジ、ユキヤナギ、アメヤ、花菖蒲、ヤマユリ、ハナイカリ、ユウリンカ、ギボウシ、レンギョ等。また、桃の花と同時期に咲くピヨウヤナギを植え、桃畑との調和を図る。果樹園との境界には、景観配慮色の農業用ネットを配置する。